



善頭エッセイ

はこだて旅便い

「今日もぷらぷら」

126

「カツは熱いうちに食べ！」



文月 斉 (ふみつき さい)
埼玉県出身。
人と街、自然と文化を題材に、
みちくさばかりの旅を続ける
エッセイスト。
函館、埼玉、大阪を拠点に
旅を満喫中。

前略、変わりはないか？
いやあ、ようやく梅雨が明けたね；なんて言ったら、「なにを寝ぼけてるの」なんて言われる
かな。先月も、蝦夷梅雨真っ只中。みたいな話をしたけど、函館の今年の6月と7月は、期間
もタイムラグも僕が関東にいた頃の梅雨そのものだった。君が暮らす街では、統計開始以来最
も早い梅雨入りに加え、梅雨の期間も最短だったみたいだけど、日本の季節が北にグッと押し
上げられてしまった感覚だね。暑いのが好きなら僕にとってはある意味歓迎するところだけど、
暑さになれていない地元の人たちには厳しそう。蒸し暑い気候には特に慣れていないように、
気温はそれほど高くないのに、冷房がキンキンに効いている店が多いよ。この街に暮らし始め
て10年以上経つけど、いまだに真夏でも上着を持ち歩いているからね。
そんな暑がり気質の人が多いせいかな、夏になると涼を求めて函館近郊のあちこちで野外
イベントが開かれる。コロナ禍以降はイベントを自粛するケースも多く見られたけど、一方
ではさまざまな対策を講じて、新たに開催されたイベントもあった。例えば函館の大門エリア
では、昨年初開催された「はこだて食のサマーフェス」をパワーアップさせた「はこだてダイナ
マイトサマーフェス2022」が開催されていたし、お隣の北斗市では「2022 Summer
道南クラフトビアガーデン」を開催。北海道新幹線の終着駅新函館北斗駅前のイベント広場に、
函館近郊でクラフトビールを作る4つのブルワリーが集まって自慢のビールを提供していた。
ほら、前に新幹線を待つ間、北斗市観光交流センター別館「ほっくる」で、日本酒やワイン
の飲み酒を楽しんでしょ。立ち飲みでか。あの酒屋さん「稲村屋」も出店していたよ。フード
系のお店も出店していて、これがないかたのグッドチョイス。車で行ってなければかたっぱし
から飲み食いしたところだけ泣く泣く断念。来年に期待しながら帰路についたよ。無性にビール
を飲みたい日が続いたことは言うまでもないね。
数日後、僕の心が聞こえたのか、仕事でお世話になっていた友人に誘われてとんかつ屋
さんに行くことになったんだ。ビールを飲むのになぜとんかつ屋さんか？僕もそう思ったけど、
ビール欲が納まるなら問題なし。出向いた先は産業道路沿いで古くから営業する「とんかつもり
や」。昭和の雰囲気をもったお店で、かなり期待できる佇まい。うーん、いいねえ。はやる気持
ちを抑えつつ、店内に足を踏み入れると、これまた期待を裏切らない造りだった。さすが友人、
僕の好みを良くわかっていらっしやる。聞けば、つい2日前に、たまたま昼ごはんを食べに寄った
そう、その時に食べたメンチカツの味に一発でノックダウン。再度味わおうと思ひ、どうせ
なら一緒にと誘ってくれんだ。
熱々メンチを肴に冷たいビールか。この町に来る前には、夏になれば商店街のお肉屋さん
でメンチカツとビールを買って、公園やお寺の境内で、外飲みを楽しんだものだけど、こっち
の精肉屋さんでは店頭で惣菜を販売する店があまりなくて、しばらくやっていなかったなあ。
どれ、久しぶりの熱々＆冷え冷えを楽しんでみるか。さっそく運ばれてきたメンチに箸を下ろす。
一瞬の静寂の後にカツの断面から肉汁がジュワ。その様子はまるでナイアガラの滝。すか
さず口に運ぶと：熱っ！ひと噛みごとに甘味の強い熱々の肉汁が染み出し、こりやたらんと
冷たいビールで急速冷却。くっくっ、暑い時はこれに限る。何とかのいつ覚えじやないけど、
悶えながら熱いと冷たいを繰り返す僕の姿を、友人は笑いながら見ていたよ。
え、手紙を読んでいたら、私も食べたくなってきたって？函館の夏は短いから、来るなら
早い方がいいよ。ちなみに友人が追加注文していたナポリタンにとんかつをのせてデミグラス
ソースを掛けた「スパカツ」も絶品だった。他のお客さんのテーブルの料理もそれぞれ魅力的だっ
たから、君が来たら毎日通うでしょう。それじゃあまた。



法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

さらに詳しくはWEBへ
イータックス 検索